平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月25日

上場会社名　芝浦メカトロニクス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6590　URL　http://www.shibaura.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 南 健治
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長　(氏名) 道嶋 仁　TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,830	39.1	△433	―	△604	―	△848	―
25年3月期第1四半期	4,911	△49.8	△803	―	△921	―	△1,269	―

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　△784百万円　(―%)　25年3月期第1四半期　△1,233百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△17.18	―
25年3月期第1四半期	△25.70	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	49,532	14,911	30.1	301.79
25年3月期	50,767	15,696	30.9	317.68

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　14,911百万円　25年3月期　15,696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		―	―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
当社は定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日毎の配当予想額は未定であります。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	53.8	500	―	400	―	300	―	6.07
通期	43,000	41.4	1,400	―	1,000	―	800	―	16.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	51,926,194 株	25年3月期	51,926,194 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	2,515,555 株	25年3月期	2,514,868 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	49,411,116 株	25年3月期1Q	49,411,858 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

①業績全般について

当第１四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、円安基調の継続や経済政策への期待感があるものの、欧州の債務問題、中国の経済減速不安など様々なリスクも抱えており、先行き不透明な状況が続いています。液晶パネル業界はテレビ市場の低迷が続いていますが、中国において大型パネル分野の新規設備投資がありました。また、スマートフォンやタブレットなどモバイル機器の製品市場は好調であるものの、中小型パネルおよびタッチパネル分野の設備投資は慎重な動きが見られました。

半導体分野は、先端分野への設備投資は堅調に推移しましたが、一部で投資の先送りも見られました。

また、顧客の設備投資の決定遅れ等により売上が第２四半期以降に延期される案件がありました。

太陽電池分野は、太陽電池価格の下落が続いており、設備投資も低迷しております。

このような景況下、当社グループは受注活動を強化し、半導体や中小型液晶パネルでの顧客拡大を進めるとともに、新成長分野への展開を進めました。また、不要不急な固定費の削減および標準化・リードタイム短縮などのコスト構造改革を進めつつ、半導体関連の設備投資の増加などにより事業の成長を一層加速しています。

その結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高は6,830百万円（前年同期比39.1％増）、営業損失は433百万円（前年同期は営業損失803百万円）、経常損失は604百万円（前年同期は経常損失921百万円）、四半期純損失は848百万円（前年同期は四半期純損失1,269百万円）となりました。

②為替変動による影響

円安の進行により、当社の外貨建て受注契約案件の売上進行に伴い売上利益に対しては差益となり営業利益が増加しておりますが、一方で外貨建て資産・負債に関連して為替差損を営業外費用に計上しております。合算すると相殺され、為替差益が発生しております。

③セグメントの業績について

（ファインメカトロニクス部門）

液晶パネル前工程では、中国向け大型パネル用装置、中小型パネル用装置の設備投資が堅調に推移し売上が増加しました。

半導体前工程は、一部に投資の慎重な動きがあり、顧客の設備投資の決定遅れ等により売上が減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は3,827百万円（前年同期比22.6％増）、セグメント損失は70百万円（前年同期はセグメント損失246百万円）となりました。

（メカトロニクスシステム部門）

液晶モジュール工程では、タッチパネル貼合装置の売上が増加しました。

半導体組立工程は、フリップチップボンダの拡販により売上が増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は1,976百万円（前年同期比122.1％増）、セグメント損失は375百万円（前年同期はセグメント損失527百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,234百万円減少し49,532百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,775百万円減少し35,727百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ540百万円増加し13,804百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が増加したことによります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ449百万円減少し34,620百万円となりました。これは主に、短期借入金が減少したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ785百万円減少し14,911百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

液晶パネル業界は、一時的に中国において大型パネル分野の新規設備投資がありますが、テレビ需要が低迷し大型パネル分野の設備投資は厳しい状況が続くと予想されます。

一方、中小型パネルおよびタッチパネル分野では、スマートフォンやタブレットの需要拡大により設備投資が継続していくと予想され、成長分野でのコア技術を生かした新商品を投入し、売上拡大を進めます。

半導体分野は、微細化関連装置の投資は堅調と予想され、同分野での売上拡大を図ります。

当社を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、成長分野を中心に受注拡大を加速し、売上の拡大に向けて取り組んでまいります。また、引き続きコスト構造改革と固定費の削減を行い、利益率の向上を図ります。

以上により、平成26年３月期の業績見通しとしては、前回予想から変更なく売上高43,000百万円、営業利益1,400百万円、経常利益1,000百万円、当期純利益800百万円を予想しております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、税引前四半期純利益に法定実効税率をベースとした年間予測税率を乗じて計算しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,296	4,332
受取手形及び売掛金	24,545	23,506
電子記録債権	527	―
商品及び製品	2,351	2,362
仕掛品	4,098	4,263
原材料及び貯蔵品	195	190
繰延税金資産	787	506
未収入金	522	320
その他	232	296
貸倒引当金	△54	△50
流動資産合計	37,503	35,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,433	28,433
減価償却累計額	△17,830	△17,966
建物及び構築物（純額）	10,602	10,466
機械装置及び運搬具	2,061	2,141
減価償却累計額	△1,474	△1,559
機械装置及び運搬具（純額）	586	582
工具、器具及び備品	465	486
減価償却累計額	△406	△415
工具、器具及び備品（純額）	59	70
土地	119	119
リース資産	710	678
減価償却累計額	△468	△457
リース資産（純額）	242	220
建設仮勘定	207	831
有形固定資産合計	11,817	12,291
無形固定資産		
のれん	9	4
特許権	322	328
リース資産	23	18
その他	359	332
無形固定資産合計	715	684
投資その他の資産		
投資有価証券	241	252
長期前払費用	6	8
繰延税金資産	117	163
その他	376	416
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	731	829
固定資産合計	13,263	13,804
資産合計	50,767	49,532

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,500	8,887
短期借入金	11,742	10,662
リース債務	102	90
未払法人税等	59	49
未払費用	2,021	2,093
前受金	828	958
役員賞与引当金	―	8
受注損失引当金	17	17
資産除去債務	11	11
その他	529	546
流動負債合計	23,813	23,324
固定負債		
長期借入金	2,700	2,700
リース債務	181	164
長期未払金	21	19
退職給付引当金	4,801	4,852
役員退職慰労引当金	11	10
修繕引当金	450	459
資産除去債務	33	33
長期預り保証金	3,057	3,057
固定負債合計	11,257	11,296
負債合計	35,070	34,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,995	9,995
利益剰余金	514	△334
自己株式	△1,720	△1,720
株主資本合計	15,550	14,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	66
為替換算調整勘定	89	143
その他の包括利益累計額合計	146	210
純資産合計	15,696	14,911
負債純資産合計	50,767	49,532

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	4,911	6,830
売上原価	3,837	5,167
売上総利益	1,074	1,663
販売費及び一般管理費	1,877	2,096
営業損失（△）	△803	△433
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	2	2
助成金収入	63	－
貸倒引当金戻入額	18	4
その他	8	5
営業外収益合計	94	14
営業外費用		
支払利息	41	41
為替差損	152	104
その他	19	39
営業外費用合計	213	185
経常損失（△）	△921	△604
税金等調整前四半期純損失（△）	△921	△604
法人税、住民税及び事業税	6	8
法人税等調整額	340	235
法人税等合計	347	244
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,269	△848
四半期純損失（△）	△1,269	△848

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,269	△848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	10
為替換算調整勘定	53	53
その他の包括利益合計	35	64
四半期包括利益	△1,233	△784
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,233	△784

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日　至 平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	ファインメカトロニクス	メカトロニクスシステム	流通機器システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	3,121	889	405	495	4,911
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	16	－	－	17
計	3,122	906	405	495	4,929
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△246	△527	△6	96	△683

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△683
全社費用（注）	△78
その他	△159
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△921

（注）全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自 平成25年４月１日　至 平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	ファインメカトロニクス	メカトロニクスシステム	流通機器システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	3,827	1,976	534	493	6,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	41	0	―	46
計	3,831	2,017	534	493	6,877
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△70	△375	△16	90	△370

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△370
全社費用（注）	△55
その他	△177
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△604

（注）全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。